

13. 転倒・転落レベル2以上発生率

(解説) 認知症があったり、病気の影響で意識が混濁したりしている場合には、ご自分のまわりのことが認識できず、あるいは、体のバランスを崩したりして、転倒したり、ベッドから転落したりします。このような患者さんが多い病院では率が高くなる可能性があります。より低い値を目指しています。

(※)「転倒・転落による損傷のレベル」は、1：なし、2：軽度(包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた)、3：中軽度、4：重度手術、5：死亡、6：UTD(記録からは判定不可能)です。

(分子) 入院患者転倒・転落レベル2以上該当件数

(分母) 入院延べ日数

	当院	全国		
		施設数	中央値	平均値
2022年度	0.00017	(160)	0.00069	0.00106
2023年度	0.00023	(164)	0.00074	0.00107
2024年度	0.00023	(171)	0.00073	0.00111
4~6月	0.00009	(163)	0.00079	0.00116
7~9月	0.00038	(165)	0.00079	0.00116
10~12月	0.00012	(163)	0.00068	0.00103
1~3月	0.00032	(158)	0.00073	0.00111

